資料１

平成29年度
千葉市水道事業会計予算について

千葉市
CHIBA CITY

平成28年度第2回
千葉市水道事業運営協議会
平成29年3月28日（火）

千葉市水道局

目 次

1　総括事項

（１）基本的な考え方　P. 3

（２）業務の予定量　P. 3

（３）収益的収支の概要　P. 4

（４）資本的収支の概要　P. 4

2　収益的収支について

（１）収益的収支の構成　P. 5

（２）前年度予算との比較　P. 6

3　資本的収支について

（１）資本的収支の構成　P. 7
（２）前年度予算との比較　P. 8

4　中期経営計画との比較について

（１）主要事業等の計画と実績【平成28年度】　P. 9
（２）主要事業の実績【平成28年度決算見込】　P.10
（３）主要事業等の計画と当初予算【平成29年度】P.13
（４）主要事業の予定【平成29年度当初予算】　P.14

※本資料においては、

・単位未満を四捨五入して表示しているので、合計が一致しない場合があります。
・千葉市水道事業中期経営計画（計画期間：平成28 ～32年度）を「中期経営計画」と表示しています。

1　総括事項　（１）基本的な考え方

■安全な水を安定して供給するため、
配水管の整備、**霞ヶ浦開発事業などへの費用負担** を行います。

■浄水場の機能を適正に維持するため、
平川浄水場電気・機械設備更新工事 を行います。

■震災対策として、
送水管の二系統化※ を行います。

※現行の誉田給水場から平川浄水場間の送水管に加え、大野台送水ポンプ場から平川浄水場間の送水管新設を進めるもの。

■水道事業維持のための戦略的な取り組みとして、
（仮称）水道事業長期施設整備計画の策定 を行います。

■その他事業運営にあたっては、より一層の経費節減を図り、効率的な事業経営に努めます。

（２）業務の予定量

■給水戸数：19,519戸（前年度に比べ243戸増）
■年間総給水量：487万2,941㎥（前年度に比べ5万9,505㎥減）
■１日平均給水量：13,351㎥
■主要な建設改良事業費：拡張費1億8,700万円、改良費1億2,300万円

（３）収益的収支の概要

※「収益的収支」とは・・・事業の管理・運営 に関する収入および支出をいいます。

【収益的収入】
- ■営業収益（水道使用料など）：11億2,600万円
- ■営業外収益等（他会計補助金など）：9億6,800万円
- ■合計：20億9,400万円

【収益的支出】
- ■営業費用（県からの受水費、職員給与費、減価償却費など）：18億7,700万円
- ■営業外費用等（企業債利息など）：2億1,700万円
- ■合計：20億9,400万円

（４）資本的収支の概要

※「資本的収支」とは・・・施設の建設・改良 に関する収入および支出をいいます。

【資本的収入】
- ■拡張費及び改良費に充当する企業債：2億700万円
- ■出資金・負担金など：9億３,300万円
- ■合計：11億4,000万円

【資本的支出】
- ■建設改良費（拡張費、改良費など）：6億2,800万円
- ■企業債償還金など：9億5,700万円
- ■合計：15億8,500万円

2　収益的収支について　（１）収益的収支の構成

単位：百万円

収益的収入　2,094百万円

収益的支出　2,094百万円

2　収益的収支について　（２）前年度予算との比較

（単位：百万円）	H28予算額	H29予算額	増減額	増減率
1 収益的収入（水道事業収益）	**2,361**	**2,094**	**△267**	**△11.3%**
（１）営業収益	1,117	1,126	9	0.8%
①給水収益（水道使用料）	1,050	1,059	9	0.9%
②その他(加入者負担金等)	67	67	0	0%
（２）営業外収益	1,204	968	△236	△19.6%
①他会計補助金	989	731	△258	△26.1%
②長期前受金戻入	214	232	18	8.4%
③その他（雑収益等）	1	5	4	400%
（３）特別利益	41	0	△41	-
2 収益的支出（水道事業費用）	**2,361**	**2,094**	**△267**	**△11.3%**
（１）営業費用	1,938	1,877	△61	△3.1%
①原水・浄水費	834	817	△17	△2.0%
②配水・給水費	242	251	9	3.7%
③総係費	153	127	△26	△17.0%
④減価償却費	709	680	△29	△4.1%
⑤資産減耗費	0	2	2	-
（２）営業外費用	233	216	△17	△7.3%
①企業債利息	198	183	△15	△7.6%
②その他（消費税等）	34	32	△2	△5.9%
（３）特別損失	188	0	△188	-
（４）予備費	1	1	0	0%

主な増減要因

- 有収水量の増に伴う給水収益（水道使用料）の増
- 特別損失及び減価償却費の減に伴う一般会計補助金の減
- H28予算において、特別損失（188百万円）に対応する財源（工事負担金・補助金41百万円）を特別利益として計上していたことによる減
- 減価償却費及び退職給付費の減
- H24～H26年度の平川浄水場中央監視設備更新工事に伴い除却すべきであった固定資産について、H28予算において計上していた特別損失（過年度損益修正損）を、H29予算では計上しないことによる減

3　資本的収支について（１）資本的収支の構成

単位：百万円

資本的収入　1,140百万円

資本的支出　1,585百万円

注　資本的収入額が資本的支出額に不足する445百万円は補てん財源等を使用

3　資本的収支について（２）前年度予算との比較

（単位：百万円）	H28予算額	H29予算額	増減額	増減率
1　資本的収入	**930**	**1,140**	**210**	**22.6%**
（１）企業債	181	207	26	14.4%
（２）出資金（他会計出資金）	434	651	217	50.0%
（３）負担金	315	282	△33	△10.5%
2　資本的支出	**1,592**	**1,585**	**△7**	**△0.4%**
（１）建設改良費	690	628	△62	△9.0%
①拡張費	532	444	△88	△16.5%
②改良費	157	183	26	16.6%
（２）償還金（企業債償還金）	902	956	54	6.0%
（３）予備費	1	1	0	0%

主な増減要因

- 企業債発行の対象となる建設改良費の増に伴う増
- 内部留保資金減少に伴う一般会計出資金の増
- 房総導水路元金償還金の減(H28:70百万円→H29:550千円(▲69百万円))に伴う増
- 元利均等償還方式を採用していることによる元金償還額の増

4　中期経営計画との比較について　（１）主要事業等の計画と実績【平成28年度】

①主要事業：平成28年度決算見込額　103,326千円（計画 120,000千円）

＜差異の理由＞

◆住民との協議により、布設延長の一部をH30年度以降に実施することとしました。

（未普及地域の配水管整備）

②他会計繰入金：平成28年度決算見込額　計1,369百万円（計画 1,424百万円）

（単位：百万円）	H28計画額	H28決算見込額	増減額	増減率
収益的収支分	**989**	**937**	**△52**	**△5.3%**
基準内	381	382	1	0.3%
基準外	607	554	△53	△8.7%
資本的収支分	**436**	**432**	**△4**	**△0.9%**
基準内	55	57	2	9.1%
基準外	380	375	△5	△1.3%
合計	**1,424**	**1,369**	**△55**	**△3.9%**

③企業債残高（決算見込）：平成28年度末　19,603百万円（計画19,603百万円）

4　中期経営計画との比較について　（２）主要事業の実績【平成28年度決算見込】

①　送水管の二系統化　43,062千円

（予算　48,000千円）

実施設計・測量業務の完了

送水管の布設　341m　【（341/990m）約34%完了】

平川系を他の系統と相互連絡させるため、大野台送水ポンプ場から平川浄水場への送水管の整備を実施しました。併せて管種に耐震管を採用することで基幹管路の耐震化率の向上も図ります。

中期経営計画(H28～H32)の進捗状況

②　平川浄水場の設備の更新　15,336千円

（予算　17,000千円）

平川浄水場電気･機械設備長寿命化計画に基づき、平川浄水場電気･機械設備更新工事の実施設計を行いました。

受変電設備

自家発電設備

薬品注入設備

配水ポンプ設備

千葉市水道事業に関連する施設及び主要事業の箇所図

③ 未普及地域の配水管整備 44,928千円

（予算 55,000千円）

管等の布設 1,289m

【（1,289/5,740m）約22%完了】

市民の生活環境の改善や公衆衛生の向上を図るため、給水要望のあった若葉区御殿町及び緑区土気町に配水管の整備を実施しました。

本事業により、34件接続可能となります。（御殿町12件、土気町22件）

排水栓設置状況

ダクタイル鋳鉄管布設状況

配水用ポリエチレン管布設状況

4　中期経営計画との比較について（３）主要事業等の計画と当初予算【平成29年度】

①主要事業：平成29年度予算額　188,500千円（計画 228,000千円）

＜差異の理由＞

◆施工方法の見直しや委託発注する予定であった業務を一部職員で実施することにより、費用の低減を図ります。

②他会計繰入金：平成29年度予算額　計1,382百万円（計画 1,443百万円）

（単位：百万円）	H29計画額	H29予算額	増減額	増減率
収益的収支分	**829**	**731**	**△98**	**△11.8%**
基準内	368	369	1	0.3%
基準外	461	363	△98	△21.3
資本的収支分	**614**	**651**	**37**	**6.0%**
基準内	33	36	3	9.1%
基準外	580	615	35	6.0%
合計	**1,442**	**1,382**	**△60**	**△4.2%**

③企業債残高（予算上）：平成29年度末　18,854百万円（計画18,910百万円）

4　中期経営計画との比較について　（４）主要事業の予定【平成29年度当初予算】

①　送水管の二系統化　70,000千円　（計画　77,000千円）

送水管の布設　650m　【（990/990m）100%完了予定】

※大野台送水ポンプ場から平川浄水場に送水するには、高低差が約20mあるため、
　別途大野台送水ポンプ場の改良などを実施する必要があります。

②　平川浄水場の設備の更新　53,000千円　（計画　59,000千円）

平川浄水場電気・機械設備の更新（H29～36年度継続）

平川浄水場電気･機械設備更新工事の実施設計に基づき、優先度の高い監視制御設備を更新します。

ローカルコントローラー盤

工計変換器盤

③ 未普及地域の配水管整備　45,000千円（計画　62,000千円）

配水管の布設　1,310m　他【（2,590/5,740m）約45%完了予定】

平成28年度に引き続き若葉区御殿町の配水管整備及び緑区土気町の舗装本復旧工事を実施します。

④ 千葉市水道事業長期施設整備計画の策定　20,500千円（計画　30,000千円）

※全体事業費　40,000千円（計画　60,000千円）

水道事業を維持するうえで、今後30 年間における戦略的な取り組みとして、施設の規模、重要度、老朽度、耐震性、水道事業経営を考慮し、適切な時期に施設を更新・整備していくため、水道事業長期施設整備計画を策定します。

※本事業は、債務負担行為を設定しています。（平成30年度　19,500千円 ）